

ボーリング柱状図

調査名 国際拠点港湾 広島港 臨港道路廿日市草津線広島はつかいち大橋 土質
調査業務委託 (その1)

ボーリングNo. []

事業・工事名

ボーリング名	Bor. A1			調査位置	広島市佐伯区五日市港三丁目地内 (測点No. 184+95.0 L-22.1)						北緯	34° 21' 20.4"							
発注機関	広島県 広島港湾振興事務所						調査期間	平成29年1月23日～29年2月6日					東経	132° 21' 41.9"					
調査業者名				主任技師				現場代理人	コ鑑定者		ボーリング責任者								
孔口標高	CDL 5.34m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 180°	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 東邦D-1型		ハンマー落下用具	半自動モンケン							
総掘進長	50.00m	度	0°	向	東	鉛直	90°	エンジン	ヤンマーNFD150-EK		ポンブ	東邦BG-3型							
標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相 対密	相稠度	記事	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日
(m)	(m)	(m)	(m)						(m)	深	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量(cm)	N 値	深度(m)	試験名および結果	深度(m)	試料番号	採取方法	
1					埋土・礫混じり砂	灰 / 中密	中	表面がGL-5m付近はよく締められたが、半固結状のマサ土が主体。径約不規則、径100~130mm程度の玉石が点在する。	1.15	16 16 11 43	30	43							
2									1.45	21 11 6 38	30	38							
3									2.15	4 11 8 23	30	23							
4	1.84	3.50	3.50		埋土・玉石	褐灰	緩	硬質な花崗岩の玉石が多くみられる。玉石は、コア長さ～10cm程度。細縫多くみられるが、基質がよく締まっている。	2.45	2 2 4 8	30	8							
5	0.84	1.00	4.50		埋土・礫混じり砂	褐灰	中	粒径不均一。粗砂に径2~50mm程度の角砾を30~70%程度混入する。基質はマサ土状主体。	3.15	1 1 1 3	30	3							
6	-0.66	1.50	6.00						3.45	2 10 2 14	30	14							
7									4.15	5 7 7 19	30	19							
8									4.45	4 4 10 18	30	18							
9									5.15	3 4 5 12	30	12							
10									5.45	2 3 3 8	30	8							
11									6.15	1 2 3 8	30	8							
12									6.45	5 7 7 19	30	19							
13									7.15	4 4 10 18	30	18							
14									7.45	3 4 5 12	30	12							
15									8.15	2 3 3 8	30	8							
16									8.45	1 2 3 8	30	8							
17									9.15	3 4 5 12	30	12							
18									9.45	2 3 3 8	30	8							
19									10.15	1 2 3 8	30	8							
20									10.45	2 3 3 8	30	8							
21									11.15	1 2 3 8	30	8							
22									11.45	6 6 6 18	30	18							
23									12.15	4 4 5 13	30	13							
24									12.45	3 2 3 8	30	8							
25									13.15	2 3 3 8	30	8							
26									13.45	2 3 3 8	30	8							
27									14.15	2 3 3 8	30	8							
28									14.45	2 3 3 8	30	8							
29									15.15	1 2 2 5	30	5							
30									15.45	1 1 2 4	30	4							
31									16.15	1 1 2 4	30	4							
32									16.45	1 1 2 4	30	4							
33									17.00	1 1 2 4	30	4							
34									17.80	1 1 2 4	30	4							
35									18.15	1 1 2 4	30	4							
36									18.45	1 1 2 4	30	4							
37									19.15	1 1 2 4	30	4							
38									19.45	1 1 2 4	30	4							
39									20.00	1 1 2 4	30	4							
40									20.80	1 1 2 4	30	4							
41									22.00	1 1 2 4	30	4							
42									22.80	1 1 2 4	30	4							
43									23.60	1 1 2 4	30	4							
44									24.40	1 1 2 4	30	4							
45									25.20	1 1 2 4	30	4							
46									26.00	1 1 2 4	30	4							
47									26.80	1 1 2 4	30	4							
48									27.60	1 1 2 4	30	4							
49									28.40	1 1 2 4	30	4							
50									29.20	1 1 2 4	30	4							
51									30.00	1 1 2 4	30	4							
52									30.80	1 1 2 4	30	4							
53									31.60	1 1 2 4	30	4							
54									32.40	1 1 2 4	30	4							
55									33.20	1 1 2 4	30	4							
56									34.00	1 1 2 4	30	4							
57									34.80	1 1 2 4	30	4							
58									35.60	1 1 2 4	30	4							
59									36.40	1 1 2 4	30	4							
60									37.20	1 1 2 4	30	4							
61									38.00	1 1 2 4	30	4							
62									38.80	1 1 2 4	30	4							
63									39.60	1 1 2 4	30	4							
64									40.40	1 1 2 4	30	4							
65									41.20	1 1 2 4	30	4							
66									42.00	1 1 2 4	30	4							
67									42.80	1 1 2 4	30	4							
68									43.60	1 1 2 4	30	4							
69									44.40	1 1 2 4	30	4							
70									45.20	1 1 2 4	30	4							
71									46.00	1 1 2 4	30	4							
72									46.80	1 1 2 4	30	4							
73									47.60	1 1 2 4	30	4							
74									48.40	1 1 2 4	30	4							
75									49.20	1 1 2 4	30	4							
76									50.00	1 1 2 4	30	4							

27	-22.06	1.80	27.40	粗砂	灰 中	4L-2m寸引工柱+1M引柱+2m引柱+3m引柱 石英粒子を10~20%程度混入する。 所々に粘土の薄層に不規則に挟む。
28	-23.16	1.10	28.50	粘土	灰~暗灰 中 硬	均質な硬質粘土。含水率でやや少 ない。粉性や粘性で強い。下位に 從い微細砂を混入する。砂質粘土に漸 移する。最下部付近は細粒+中砂を不 規則に挟む。
29						
30	-25.66	2.50	31.00	粗 中 砂	灰 淡 青 灰 中 密	粒径不均一。径2~5mmの石英・長石 粒子を10~20%程度混入する。所々 に、径20~30mmの亜角~亜円礫が点 在する。
31						
32				礫混 じり 中 粗 砂	灰 中 極 密	粒径不均一。中~粗砂に径2~5mm程 度の石英・長石粒子と径20~40mmの 亜角~亜円礫を30~50%程度混入す る。
33	-28.66	3.00	34.00			
34				砂 礫	灰 密 極 密	粒径不均一。粗砂に径2~10mmの亜 角~亜円礫を60~70%程度混入す る。
35	-30.16	1.50	35.50			
36				中 粗 砂	褐 灰 密	粒径不均一。中~粗砂に径2~5mmの 石英・長石粒子を10~20%程度混入 する。所々灰褐色の微細礫を挟む。
37	-31.66	1.50	37.00			
38	-32.66	1.00	38.00	砂 礫	黄 褐 灰 密	粒径不均一。粗砂に径2~10mmの角 ~亜角礫を60~70%程度混入す る。
39	-33.66	1.00	39.00	中~粗 砂	灰~ 褐 灰 密	粒径不均一。中~粗砂に径2~5mmの 石英・長石粒子を10%程度混入す る。径20~30mmの亜円礫が点在す る。
40	-34.66	1.00	40.00	砂 礫	褐 灰 極 密	粒径不均一。粗砂に径2~10mmの石 英・長石粒子と亜円礫を50~60%程 度混入する。
41	-36.16	1.50	41.50	シルト 混 砂 礫	褐 灰~ 褐 灰 密	二次マサ状に崩壊マサ状を呈する。 粒径不均一。中~粗砂に径2~10mm 程度の石英・長石粒子と径30~60mm 程度の硬質な亜角~亜円礫を50~7 0%程度混入する。
42						
43				中 砂	褐 灰 灰 密 極 密	粒径不均一。中~細砂主体で粗砂や 径2~3mm程度の石英・長石粒子を1 0%程度混入する。下位に從い粗粒 となる傾向がある。径10~20mm程度 の角礫が点在する。 GL=44.9m付近に木片をみとめる。
44						
45	-39.56	3.40	44.90			
46	-40.66	1.10	46.00	砂 礫	褐 灰 密	二次マサ状を呈する。粒径不均一。 粗砂に径2~40mm程度の亜角~亜円 礫を60~70%程度混入する。
47						
48				礫混 じり 粗 砂	褐 灰 灰 褐 密	二次マサ状を呈する。 粒径不均一。中~粗砂に径2~5mm程 度の石英・長石粒子と径20~30mm程 度の硬質な亜角~亜円礫を30~50% 程度混入する。
49						
50	-44.66	4.00	50.00			
51						

